

LM・ブラジル国債ファンド (毎月分配型)

運用報告書 (全体版)

第144期	決算日	2020年10月13日
第145期	決算日	2020年11月13日
第146期	決算日	2020年12月14日
第147期	決算日	2021年1月13日
第148期	決算日	2021年2月15日
第149期	決算日	2021年3月15日

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	当ファンドは、主に「LM・ブラジル国債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にブラジル・レアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的成長を目指します。	
主要運用対象	当ファンド	「LM・ブラジル国債マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	LM・ブラジル国債マザーファンド	ブラジル・レアル建てのブラジル国債を主要投資対象とします。
組入制限	外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	決算日(原則として毎月13日。休業日の場合は翌営業日)に、収益分配方針に基づいて分配を行います。	

当報告書に関するお問い合わせ先：
レッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

お問い合わせ窓口

電話番号：03-5219-5947

－ 受益者のみなさまへ －

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「LM・ブラジル国債ファンド(毎月分配型)」は、2021年3月15日に第149期の決算を行いましたので、第144期、第145期、第146期、第147期、第148期、第149期の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

レッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

〒100-6536 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

レッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。

レッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社は、2021年4月1日付でフランクリン・テンプレトン・インベストメンツ株式会社を吸収合併し、商号を「フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社」に変更する予定です。

<https://www.leggmason.co.jp>

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額		債組入比率	債券先物比率	純資産額
		税金込 分配金	騰落 中率			
	円	円	%	%	%	百万円
120期(2018年10月15日)	4,457	35	12.8	97.0	—	45,413
121期(2018年11月13日)	4,557	35	3.0	96.0	—	44,505
122期(2018年12月13日)	4,462	35	△ 1.3	95.7	—	43,240
123期(2019年1月15日)	4,471	35	1.0	98.7	—	44,845
124期(2019年2月13日)	4,540	35	2.3	98.6	—	45,201
125期(2019年3月13日)	4,449	35	△ 1.2	97.9	—	44,053
126期(2019年4月15日)	4,374	35	△ 0.9	97.2	—	43,464
127期(2019年5月13日)	4,207	35	△ 3.0	96.5	—	42,031
128期(2019年6月13日)	4,298	25	2.8	96.0	—	43,582
129期(2019年7月16日)	4,448	25	4.1	99.1	—	45,074
130期(2019年8月13日)	4,086	25	△ 7.6	98.8	—	42,254
131期(2019年9月13日)	4,104	25	1.1	97.8	—	43,224
132期(2019年10月15日)	4,093	25	0.3	97.8	—	43,539
133期(2019年11月13日)	4,062	25	△ 0.1	97.4	—	43,539
134期(2019年12月13日)	4,133	25	2.4	96.8	—	45,196
135期(2020年1月14日)	4,089	25	△ 0.5	99.4	—	44,665
136期(2020年2月13日)	3,892	25	△ 4.2	98.9	—	42,843
137期(2020年3月13日)	3,267	25	△ 15.4	98.2	—	36,014
138期(2020年4月13日)	3,235	25	△ 0.2	97.5	—	34,914
139期(2020年5月13日)	2,785	15	△ 13.4	97.5	—	29,885
140期(2020年6月15日)	3,272	15	18.0	96.7	—	34,627
141期(2020年7月13日)	3,087	15	△ 5.2	99.2	—	32,111
142期(2020年8月13日)	3,012	15	△ 1.9	98.7	—	30,834
143期(2020年9月14日)	3,043	15	1.5	97.9	—	30,671
144期(2020年10月13日)	2,874	15	△ 5.1	97.8	—	28,780
145期(2020年11月13日)	2,882	15	0.8	97.2	—	28,409
146期(2020年12月14日)	3,102	15	8.2	96.9	—	29,975
147期(2021年1月13日)	2,913	15	△ 5.6	99.4	—	27,529
148期(2021年2月15日)	2,905	15	0.2	98.5	—	26,638
149期(2021年3月15日)	2,872	15	△ 0.6	98.3	—	26,030

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
			騰 落 率	率			
第144期	(期 首) 2020年9月14日	円 3,043		% —	% 97.9	% —	
	9月末	2,843	△6.6		97.7	—	
	(期 末) 2020年10月13日	2,889	△5.1		97.8	—	
第145期	(期 首) 2020年10月13日	2,874		—	97.8	—	
	10月末	2,722	△5.3		97.6	—	
	(期 末) 2020年11月13日	2,897	0.8		97.2	—	
第146期	(期 首) 2020年11月13日	2,882		—	97.2	—	
	11月末	2,922	1.4		96.9	—	
	(期 末) 2020年12月14日	3,117	8.2		96.9	—	
第147期	(期 首) 2020年12月14日	3,102		—	96.9	—	
	12月末	3,014	△2.8		96.4	—	
	(期 末) 2021年1月13日	2,928	△5.6		99.4	—	
第148期	(期 首) 2021年1月13日	2,913		—	99.4	—	
	1月末	2,871	△1.4		99.2	—	
	(期 末) 2021年2月15日	2,920	0.2		98.5	—	
第149期	(期 首) 2021年2月15日	2,905		—	98.5	—	
	2月末	2,842	△2.2		98.7	—	
	(期 末) 2021年3月15日	2,887	△0.6		98.3	—	

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

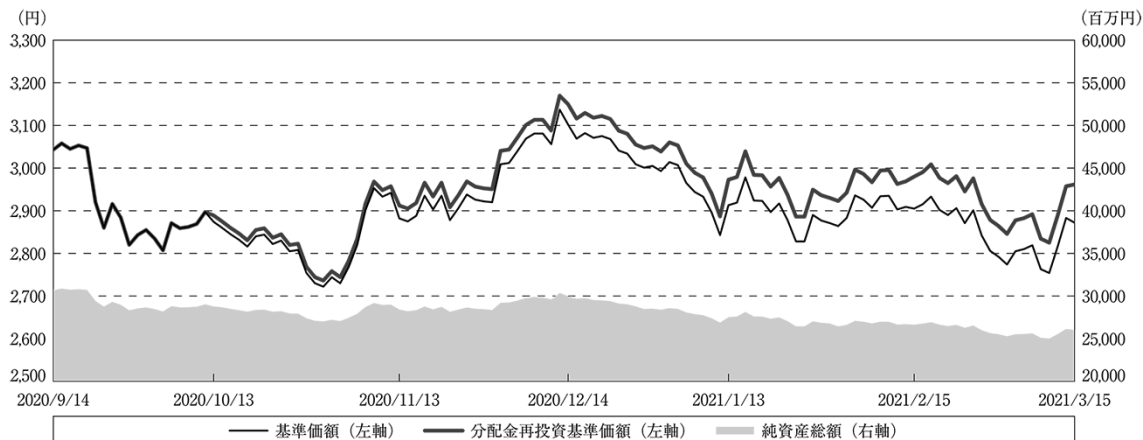
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2020年9月15日～2021年3月15日)



第144期首：3,043円

第149期末：2,872円（既払分配金(税込み)：90円）

騰落率：△ 2.7%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2020年9月14日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当作成期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はマイナス（分配金再投資ベース）となりました。ブラジルの金利水準が相対的に高いことから、公社債利金を手堅く確保しましたが、債券利回りの上昇を受けて、公社債損益がマイナスとなりました。また、ブラジルリアル安・円高を反映して、為替損益もマイナスとなりました。

当作成期のブラジル債券市場では、利回りが上昇（価格は下落）しました。

期の前半は、欧米での新型コロナウイルスの感染再拡大を背景に、リスク回避の動きが強まったことから、利回りは上昇しました。また、ブラジル中央銀行（BCB）が金融政策委員会（COPOM）で、政策金利の据え置きを決定する一方、インフレ見通しを上方修正したことも、利回りの上昇につながりました。

期の半ばは、米大統領選挙の結果を受け、米政局を巡る不透明感が後退したことや、新型コロナウイルスワクチンの実用化への期待が広がったことなどを受けて、投資家のリスク回避姿勢が緩んだことから、利回りは低下（価格は上昇）しました。しかし、その後、米バイデン政権下での財政拡大観測から米国国債利回りが上昇した影響で、ブラジルの債券利回りも上昇しました。

期の後半は、米国国債利回りの上昇が一服したことなどから、利回りは概ね横ばいとなりました。しかし、その後、ボルソナロ大統領による国営石油会社ペトロbrasのトップ更迭の発表を受けて、市場経済に対する政治介入を巡る懸念などから投資家の不透明感が強まり、利回りは上昇しました。

当作成期のブラジルリアル・円相場は、レアル安・円高となりました。

期の前半は、欧米で新型コロナウイルスの感染が再拡大し、投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、レアル売り・円買いが優勢となりました。しかし、その後、新型コロナウイルスワクチンの早期実用化への期待が高まったことなどを受けて、レアル買い・円売りが優勢となりました。

期の半ばは、新型コロナウイルスのワクチン実用化への期待や、2020年7-9月期の国内総生産（GDP）成長率が前期から大幅な回復となったことなどから、レアル買い・円売りが優勢となりました。しかし、その後、新型コロナウイルスの変異株が確認され、投資家のリスク回避姿勢が強まると、レアルは対円で軟調となりました。

期の後半は、新型コロナウイルスのワクチン普及への期待感などから、レアルは対円で底堅く推移しました。しかし、その後、国営石油会社ペトロbrasを巡る不透明感や、国内の感染者数増加に歯止めがかからないことなどから、レアル売り・円買いが優勢となりました。

ブラジル国債（2年物）利回りの推移



ブラジルリアル／円レートの推移



当ファンドは、主に「LM・ブラジル国債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用に努めてまいりました。また、外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。当作成期においては、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築しました。

分配金

(2020年9月15日～2021年3月15日)

分配金につきましては、基準価額動向や保有債券の利子収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第144期	第145期	第146期	第147期	第148期	第149期
	2020年9月15日～ 2020年10月13日	2020年10月14日～ 2020年11月13日	2020年11月14日～ 2020年12月14日	2020年12月15日～ 2021年1月13日	2021年1月14日～ 2021年2月15日	2021年2月16日～ 2021年3月15日
当期分配金 (対基準価額比率)	15 0.519%	15 0.518%	15 0.481%	15 0.512%	15 0.514%	15 0.520%
当期の収益	13	15	15	10	12	10
当期の収益以外	1	—	—	4	2	4
翌期繰越分配対象額	211	211	215	210	208	203

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行い、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築してまいります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年9月15日～2021年3月15日)

項 目	第144期～第149期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 24	% 0.850	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(12)	(0.411)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(12)	(0.411)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	3	0.102	(b)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.092)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 等 費 用)	(0)	(0.007)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に 係る費用
合 計	27	0.952	
作成期間の平均基準価額は、2,869円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

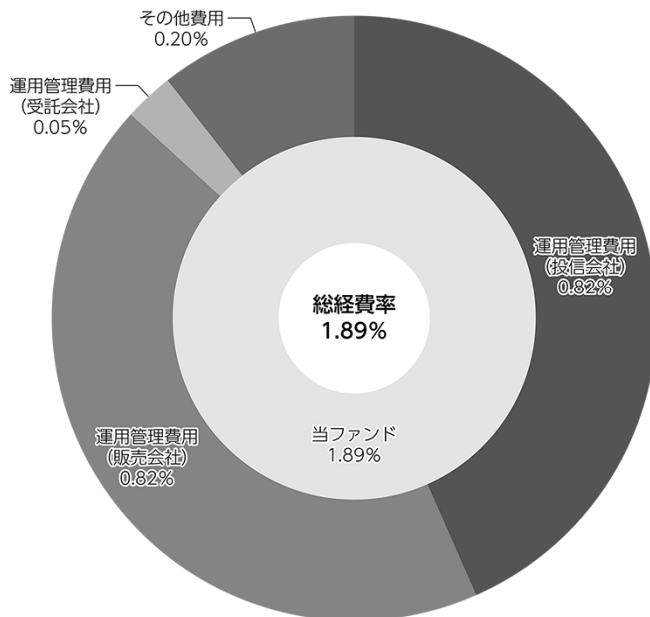
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.89%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2020年9月15日～2021年3月15日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第144期～第149期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
LM・ブラジル国債マザーファンド	千口 462,590	千円 621,609	千口 3,519,769	千円 4,708,661

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2020年9月15日～2021年3月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

(2020年9月15日～2021年3月15日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2020年9月15日～2021年3月15日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2021年3月15日現在)

親投資信託残高

銘柄	第143期末	第149期末	
	口数	口数	評価額
LM・ブラジル国債マザーファンド	千口 22,588,151	千口 19,530,972	千円 26,200,799

(注) 単位未満は切捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2021年3月15日現在)

項 目	第149期末	
	評 価 額	比 率
LM・ブラジル国債マザーファンド	千円 26,200,799	% 99.8
コール・ローン等、その他	53,252	0.2
投資信託財産総額	26,254,051	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) LM・ブラジル国債マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(32,605,067千円)の投資信託財産総額(33,050,031千円)に対する比率は98.7%です。

(注) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、3月15日における邦貨換算レートは1米ドル=109.06円、1ブラジルリアル=19.63円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第144期末	第145期末	第146期末	第147期末	第148期末	第149期末
	2020年10月13日現在	2020年11月13日現在	2020年12月14日現在	2021年1月13日現在	2021年2月15日現在	2021年3月15日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	28,988,879,714	28,668,277,386	30,252,409,418	27,751,909,666	26,882,132,954	26,254,051,022
LM・ブラジル国債マザーファンド(評価額)	28,970,697,588	28,598,000,413	30,163,132,281	27,711,825,848	26,818,119,144	26,200,799,737
未収入金	18,182,126	70,276,973	89,277,137	40,083,818	64,013,810	53,251,285
(B) 負債	208,108,321	259,137,962	276,654,510	222,360,213	243,723,761	223,702,633
未払収益分配金	150,229,902	147,840,015	144,954,468	141,780,555	137,550,335	135,955,107
未払解約金	17,636,091	70,276,973	89,277,137	40,083,818	64,013,810	53,251,285
未払信託報酬	39,815,431	40,579,028	41,970,853	40,064,962	41,702,697	34,041,941
その他未払費用	426,897	441,946	452,052	430,878	456,919	454,300
(C) 純資産総額(A-B)	28,780,771,393	28,409,139,424	29,975,754,908	27,529,549,453	26,638,409,193	26,030,348,389
元本	100,153,268,239	98,560,010,255	96,636,312,162	94,520,370,657	91,700,223,544	90,636,738,280
次期繰越損益金	△71,372,496,846	△70,150,870,831	△66,660,557,254	△66,990,821,204	△65,061,814,351	△64,606,389,891
(D) 受益権総口数	100,153,268,239口	98,560,010,255口	96,636,312,162口	94,520,370,657口	91,700,223,544口	90,636,738,280口
1万口当たり基準価額(C/D)	2,874円	2,882円	3,102円	2,913円	2,905円	2,872円

<注記事項>

(注) 元本の状況

当作成期首元本額 100,804,791,328円
 当作成期中追加設定元本額 2,109,121,387円
 当作成期中一部解約元本額 12,277,174,435円

(注) 元本の欠損

純資産総額が元本額を下回っており、その差額は64,606,389,891円であります。

○損益の状況

項 目	第144期	第145期	第146期	第147期	第148期	第149期
	2020年9月15日～ 2020年10月13日	2020年10月14日～ 2020年11月13日	2020年11月14日～ 2020年12月14日	2020年12月15日～ 2021年1月13日	2021年1月14日～ 2021年2月15日	2021年2月16日～ 2021年3月15日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	546,035	6,390	-	-	-	-
その他収益金	546,035	6,390	-	-	-	-
(B) 有価証券売買損益	△ 1,499,816,687	275,779,708	2,305,619,566	△ 1,605,384,259	109,821,826	△ 128,047,659
売買益	12,232,791	323,597,354	2,327,233,088	17,026,284	138,894,414	9,950,743
売買損	△ 1,512,049,478	△ 47,817,646	△ 21,613,522	△ 1,622,410,543	△ 29,072,588	△ 137,998,402
(C) 信託報酬等	△ 40,242,328	△ 41,020,974	△ 42,422,905	△ 40,495,840	△ 42,159,610	△ 34,496,241
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 1,539,512,980	234,765,124	2,263,196,661	△ 1,645,880,099	67,662,216	△ 162,543,900
(E) 前期繰越損益金	△26,457,495,013	△27,612,961,925	△26,879,412,455	△24,110,494,505	△25,038,772,627	△24,741,485,699
(F) 追加信託差損益金	△43,225,258,951	△42,624,834,015	△41,899,386,992	△41,092,666,045	△39,953,153,599	△39,566,405,185
(配当等相当額)	(2,064,863,235)	(2,032,491,398)	(1,993,324,253)	(1,950,412,765)	(1,892,709,842)	(1,871,072,724)
(売買損益相当額)	(△45,290,122,186)	(△44,657,325,413)	(△43,892,711,245)	(△43,043,078,810)	(△41,845,863,441)	(△41,437,477,909)
(G) 計(D+E+F)	△71,222,266,944	△70,003,030,816	△66,515,602,786	△66,849,040,649	△64,924,264,016	△64,470,434,784
(H) 収益分配金	△ 150,229,902	△ 147,840,015	△ 144,954,468	△ 141,780,555	△ 137,550,335	△ 135,955,107
次期繰越損益金(G+H)	△71,372,496,846	△70,150,870,831	△66,660,557,254	△66,990,821,204	△65,061,814,351	△64,606,389,891
追加信託差損益金	△43,225,258,951	△42,624,834,015	△41,899,386,992	△41,092,666,045	△39,953,153,599	△39,589,954,869
(配当等相当額)	(2,065,183,402)	(2,032,787,926)	(1,993,695,942)	(1,950,793,483)	(1,892,981,752)	(1,847,703,480)
(売買損益相当額)	(△45,290,442,353)	(△44,657,621,941)	(△43,893,082,934)	(△43,043,459,528)	(△41,846,135,351)	(△41,437,658,349)
分配準備積立金	52,504,147	53,179,659	84,142,545	37,045,708	14,774,675	-
繰越損益金	△28,199,742,042	△27,579,216,475	△24,845,312,807	△25,935,200,867	△25,123,435,427	△25,016,435,022

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、委託者報酬のうち販売会社へ支払う手数料を除いた額の100分の50相当額を支払っております。

<分配金の計算過程>

決 算 期	第144期	第145期	第146期	第147期	第148期	第149期
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益(費用控除後)	131,706,569	149,512,135	177,166,617	96,894,821	116,508,595	97,846,805
(B) 有価証券売買等損益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0	0	0	0	0	0
(C) 収益調整金	2,065,183,402	2,032,787,926	1,993,695,942	1,950,793,483	1,892,981,752	1,871,253,164
(D) 分配準備積立金	71,027,480	51,507,539	51,930,396	81,931,442	35,816,415	14,558,618
分配対象収益額(A+B+C+D)	2,267,917,451	2,233,807,600	2,222,792,955	2,129,619,746	2,045,306,762	1,983,658,587
(1万円当たり収益分配対象額)	(226)	(226)	(230)	(223)	(223)	(218)
収 益 分 配 金	150,229,902	147,840,015	144,954,468	141,780,555	137,550,335	135,955,107
(1万円当たり収益分配金)	(15)	(15)	(15)	(15)	(15)	(15)

○分配金のお知らせ

	第144期	第145期	第146期	第147期	第148期	第149期
1万口当たり分配金(税込み)	15円	15円	15円	15円	15円	15円

◇分配金をお支払いする場合

分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◇分配金を再投資する場合

お手続き分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰入れて再投資いたします。

◇分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により普通分配金と元本払戻金（特別分配金）に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。

分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。

◇元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

LM・ブラジル国債マザーファンド

運用状況のご報告

第13期 決算日 2021年3月15日

(計算期間：2020年3月14日～2021年3月15日)

－ 受益者のみなさまへ －

法令・諸規則に基づき、「LM・ブラジル国債マザーファンド」の第13期の運用状況をご報告申し上げます。

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
信 託 期 間	無期限
運 用 方 針	1. 主としてブラジル・リアル建てのブラジル国債を中心に投資を行います。 2. 原則として外貨建資産の為替ヘッジを行いません。 3. 債券の流動性や残存年数に配慮しながらポートフォリオを構築します。
主 要 運 用 対 象	ブラジル・リアル建てのブラジル国債を主要投資対象とします。
組 入 制 限	外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	債券先物比率	純資産額
	円	騰落率			
9期(2017年3月13日)	17,469	37.8	96.9	—	百万円 67,945
10期(2018年3月13日)	17,757	1.6	96.9	—	60,032
11期(2019年3月13日)	17,432	△1.8	97.0	—	51,018
12期(2020年3月13日)	14,082	△19.2	97.3	—	46,112
13期(2021年3月15日)	13,415	△4.7	97.7	—	32,984

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		債組入比率	債券先物比率	騰落率
	円	騰落率			
(期首) 2020年3月13日	14,082	—	97.3	—	—
3月末	13,810	△1.9	98.1	—	—
4月末	13,377	△5.0	97.4	—	—
5月末	13,421	△4.7	97.3	—	—
6月末	13,562	△3.7	96.4	—	—
7月末	13,928	△1.1	98.8	—	—
8月末	13,388	△4.9	98.6	—	—
9月末	12,781	△9.2	97.7	—	—
10月末	12,318	△12.5	97.5	—	—
11月末	13,309	△5.5	96.8	—	—
12月末	13,815	△1.9	96.3	—	—
2021年1月末	13,243	△6.0	99.2	—	—
2月末	13,194	△6.3	98.6	—	—
(期末) 2021年3月15日	13,415	△4.7	97.7	—	—

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

(2020年3月14日～2021年3月15日)



○基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はマイナスとなりました。ブラジルリアル安・円高を反映して、為替損益が大幅なマイナスとなったことが主に影響しました。公社債損益についても、若干のマイナスとなりました。一方、ブラジルの金利水準が相対的に高いことから、公社債利金を手堅く確保しました。

当期のブラジル債券市場では、利回りが若干上昇（価格は下落）しました。

期の前半は、新型コロナウイルスの感染が広がり金融市場が混乱する中、ブラジル中央銀行（BCB）が追加利下げや積極的な流動性供給策を打ち出したことなどを受け、利回りは低下（価格は上昇）しました。その後も、主要国の経済活動再開により世界経済への回復期待が高まる中、投資家のリスク回避姿勢が緩んだことなどから、利回りは低下基調となりました。

期の半ばは、欧米においてウイルス対策のため経済活動自粛の動きが広がったことを受けて、投資家のリスク回避姿勢が強まり、利回りは上昇しました。また、BCBが2020年10月の金融政策委員会（COPOM）で、インフレ見通しを上方修正したことも、利回りの上昇につながりました。

期の後半は、米大統領選挙の結果を受けて米政局を巡る不透明感が後退したことや、新型コロナウイルスワクチンの早期実用化への期待が高まったことなどを受けて、投資家のリスク回避姿勢が緩んだことから、利回りは一時低下しました。しかし、その後、米国国債利回り上昇の影響などから、ブラジルの利回りも上昇しました。

当期のブラジルリアル・円相場は、リアル安・円高となりました。

期の前半は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けてリスク回避の動きが強まったことや、BCBによる積極的な金融緩和策を受けて、リアル売り・円買いが優勢となりました。その後は、主要国の経済活動再開を受けてリスク回避姿勢が和らぎ、リアルが一時買い戻されるなど、値動きの激しい展開となりました。

期の半ばは、BCBによる追加利下げや米中関係の悪化懸念などを背景に、リアルは対円で上値の重い展開となりました。その後も、欧米で新型コロナウイルスの感染が再拡大し、リスク回避の動きが強まったことから、リアル売り・円買い



が優勢となりました。

期の後半は、新型コロナウイルスワクチンの早期実用化への期待が高まり、投資家のリスク回避姿勢が緩んだことなどから、リアル買い・円売りが優勢となりました。しかし、その後は、米国国債利回りの急速な上昇などを受けて、リスク回避姿勢が強まったことから、リアル売り・円買いが優勢となりました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用に努めてまいりました。当期においては、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築しました。

○今後の運用方針

主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行い、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築してまいります。

○1万口当たりの費用明細

(2020年3月14日～2021年3月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	円 23 (23)	% 0.174 (0.174)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	23	0.174	
期中の平均基準価額は、13,345円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2020年3月14日～2021年3月15日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	ブラジル	国債証券	千ブラジルリアル 778,927	千ブラジルリアル 731,676 (466,880)

(注) 金額は受渡し代金。(経過利息分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2020年3月14日～2021年3月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2021年3月15日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円	%	%	%	%	%
ブラジル	1,591,350	1,641,661	32,225,820	97.7	97.7	—	13.0	84.7
合 計	1,591,350	1,641,661	32,225,820	97.7	97.7	—	13.0	84.7

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当 期 末						
	利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日		
			外貨建金額	邦貨換算金額			
		%	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円		
ブラジル	国債証券	BRAZIL-LTN (LETRA TESO NA)	—	180,500	177,945	3,493,076	2021/10/1
		BRAZIL-LTN (LETRA TESO NA)	—	445,300	435,280	8,544,565	2022/1/1
		BRAZIL-NTN-F (NOTA TESO N)	10.0	762,100	809,614	15,892,738	2023/1/1
		BRAZIL-NTN-F (NOTA TESO N)	10.0	203,450	218,820	4,295,439	2025/1/1
合 計						32,225,820	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2021年3月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	32,225,820	97.5
コール・ローン等、その他	824,211	2.5
投資信託財産総額	33,050,031	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(32,605,067千円)の投資信託財産総額(33,050,031千円)に対する比率は98.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、3月15日における邦貨換算レートは1米ドル=109.06円、1ブラジルレアル=19.63円です。

○特定資産の価格等の調査

(2020年3月14日～2021年3月15日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年3月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	33,050,031,227
コール・ローン等	103,690,026
公社債(評価額)	32,225,820,385
未収入金	365,661,933
未収利息	354,469,404
前払費用	389,479
(B) 負債	65,949,521
未払解約金	65,948,766
未払利息	755
(C) 純資産総額(A-B)	32,984,081,706
元本	24,587,299,519
次期繰越損益金	8,396,782,187
(D) 受益権総口数	24,587,299,519口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,415円

<注記事項>

(注) 元本の状況

期首元本額	32,745,533,541円
期中追加設定元本額	1,198,419,487円
期中一部解約元本額	9,356,653,509円

(注) 期末における元本の内訳

LM・ブラジル国債ファンド(毎月分配型)	19,530,972,596円
LM・ブラジル国債ファンド(年2回決算型)	3,839,881,515円
LM・ブラジル・ボンド・ファンド(適格機関投資家専用)	1,216,445,408円

○損益の状況 (2020年3月14日～2021年3月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	2,735,150,950
受取利息	2,735,361,861
支払利息	△ 210,911
(B) 有価証券売買損益	△ 4,784,877,562
売買益	229,556,940
売買損	△ 5,014,434,502
(C) 保管費用等	△ 66,412,056
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 2,116,138,668
(E) 前期繰越損益金	13,367,014,328
(F) 追加信託差損益金	422,712,540
(G) 解約差損益金	△ 3,276,806,013
(H) 計(D+E+F+G)	8,396,782,187
次期繰越損益金(H)	8,396,782,187

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。